



M.M.Honcho Newsletter

【9月号】令和8年8月31日発行

▼WEB PAGE



▼e-mail



豊かな「みらい」の創り手を目指した学びの充実

校長 大井 慶亮

厳しい残暑の中、学校に子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってまいりました。それぞれの子どもたちからは充実した夏休みを過ごしてきた様子をうかがうことができ、大変嬉しく思っております。保護者や地域の皆様の温かい見守りに、心より感謝申し上げます。

さて、この夏休みの期間中、横浜市では教職員が専門性を高め、学習指導の充実を図るための研究を深める「教育課程研究委員会」が開催されました。本校からも多くの教職員が各教科の研究会に参加し、実践事例等を通してこれからの教育の在り方について学んでまいりました。そして、夏休み後半には、その学びを校内で共有するための報告会を実施いたしました。報告会では、研修の成果を共有するとどまらず、改めて本校の子どもたちに身に付けさせたい資質・能力とは何かを確認し、それを日々の授業や教育活動の中でどのように具現化していくかについて、熱心な議論を行いました。この学びを生かし、子どもたちが「なるほど」「もっと知りたい」と主体的に学びに向かうことのできる授業づくりを目指して、教職員一人ひとりが指導の質を高め、充実した教育活動を展開させていきます。

また、本校が大切にしている探究学習が、これから本格的に始まっていきます。開幕まで半年余りとなった「GREEN×EXPO 2027」を見据え、企業と協働しながら森林の整備・保全の重要性について考えたり、地域の方の力も得ながら身近な川や海に関心をもちフィールドワークを計画したりと、子

どもたちの興味・関心に基づいた実践が各学級でスタートしています。国際的な博覧会を契機と捉え、単に知識を得るだけでなく、自ら課題意識をもち、主体的に関わっていかうとする姿勢を育んでいくことが大切です。「みなとみらい」のまちに育つ子どもたちが、環境問題や持続可能な社会について「自分のこと」として捉え、行動する力を一層高めていけるよう、豊かな教育資源を最大限に活用した魅力ある学びを推進してまいります。

最後になりましたが、この夏に発生いたしました「令和8年熊本地震」ならびに「令和8年8月千葉豪雨」により、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。今なお不自由な生活を余儀なくされている方々の安全と、被災地の情勢が一日も早く平穏に戻りますことを深くお祈り申し上げます。

こうした自然災害の報に接するたびに、命を守る防災教育の大切さを痛感いたします。本校におきましても、いつ起こるかわからない災害に備え、避難訓練の実施や安全点検の徹底を図るとともに、子どもたち自身が自分の身を守るための判断力を身に付けられるよう、防災学習の更なる充実を図ってまいります。

一人ひとりの子どもたちがそれぞれ自分のよさを発揮し、心身ともに成長できるよう、教職員一丸となって取り組んでまいります。引き続き温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。